

平成24年9月4日
総務部行財政改革推進課

率先実行大賞の見直しについて

1 率先実行大賞の見直し

昨年度まで実施していた率先実行大賞及び発表会の目的や内容等を見直し、名称も含めリニューアルいたしたい。

【新たな名称案】

MI E職員力アワード

2 行財政改革取組上の位置づけ

人づくりの改革—職員の意欲および能力の向上

「幅広い職場で職員の意欲的な事業や改善活動が実施されるように、部下職員の意欲を高めるための管理職員の能力の向上や職員提案・表彰制度の拡充など、自ら変革していく組織風土づくりを進めます。」

3 現行の課題

- ①優良事例の水平展開が進まない
- ②応募数の減少（H22年度 191件 ⇒ H23 151件）

4 改善策

（1）方向性

- ①水平展開の推進
- ②職員の応募意欲の向上

（2）具体策

・部門の設置

「協創推進部門」「職員力向上部門」などの部門を設けることで、応募の促進を図るとともに、関心のある取組を検索しやすくし、水平展開の推進につなげる。

・賞制度のリニューアル

賞制度の目的や内容等を見直し、賞名称も含めリニューアルすることで、職員の関心を高める。

・多くの職員の参画

新規採用職員など多くの職員に発表会運営や審査に係わってもらうことで、改善活動への関心を広げる。

MIE 職員カアワード募集等について（案）

1 目的

— 県民に成果を届ける、職員の人材育成 —

意欲的で、成果の著しい改善・改革活動のプロセスなどを共有することにより、改善手法等を学び、水平展開につなげる。また、そうした改善・改革の取組を表彰することで、職員の意欲を高め、自ら変革していく組織風土づくりを進める。

2 募集対象者

職員グループ（部局、課、グループ内の活動のほか、WGや職員有志による活動など広く対象とする。）

3 募集対象取組、募集部門

募集取組は、より良い組織とするための創意工夫なども含む「みえ県民カビジョン」の実現を達成するためのあらゆる活動を対象とし、以下の5つの部門とする。

【協創推進部門】

県民と「協創」の取組を進めている活動を対象とする部門

例 企業、NPOなどの多様な主体と連携・協働・創造を高める取組

【職員力向上部門】

意欲・能力等の職員力の向上に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 職員が意欲的に行動できる職場環境づくりの取組や、業務を効率的・効果的に進めるための人材育成の取組

【効率化推進部門】

業務などの省力化や効率化に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 コスト、業務の手間、時間外勤務の削減などの効率化につながる業務プロセス改善の取組

【成果向上部門】

実施効果の向上等の成果向上に取り組んでいる活動を対象とする部門

例 施策の目標達成や高い事業成果につながった効果的な業務プロセス改善の取組

【自由テーマ部門】

上記の部門に該当しない自由なテーマの活動を対象とする部門

例 県民や地域から信頼を高める危機管理や社会貢献活動などの取組

4 賞の種類と審査・選定

新規採用職員（発表会の運営担当以外）、部局内の改善・改革の推進を担当する職員、政策創造員、職員の中から公募する職員などで構成する審査員（200名程度）が、「審査の視点」ごとに4段階の評価を行い、各部門賞、奨励賞を選定する。

（審査の視点）

着眼点	多角的な目線で課題解決に向けた分析・検討を行い、取り組んだ着眼点のよい取組であるか
成果	成果とは何か（成果目標）を意識しながら、実際に成果（結果）が出ている取組であるか。
現場重視	現場体験から得られた知恵や経験を職場で共有、活用、展開している取組であるか。
チームワーク	職員間のコミュニケーションを活発にし、県庁全体としての組織力を高めていく取組であるか
チャレンジ	「変えてもいいこと」「変えなくてはいけないこと」の変革に向けて、果敢に挑戦している取組であるか

名称	選定方法
各部門賞（1部門2程度）	全審査員の評価点を集計し、上位30取組の内、各部門の上位2取組を「協創推進部門賞」などの部門賞として選定（別途、優良な職員提案への表彰も実施）
奨励賞（20程度）	全審査員の評価点を集計し、上位30取組の内、各部門賞として選定されなかったが評価の高い取組を「奨励賞」として選定

さらに、各部門賞に選定された受賞取組（10程度）の中から、MIE職員カワード発表会の当日に次の賞を選定・授与する。（ただし、「職員セレクト賞」は事前に選定のための職員投票を実施）

名称	選定方法
グランプリ（1）	発表会の当日、知事・副知事の審査により選定
職員セレクト賞（1）	事前にアンケートシステム「きくすけ」による職員投票を実施して選定
来場者セレクト賞（1）	発表会の当日、県職員以外の来場者の投票により選定

（ ）内の値は選定数

5 発表

MIE 職員力アワードに応募があり、「4 賞の種類と審査・選定」により選定された職員グループが MIE 職員力アワード発表会において発表を行う。なお、幸福実感日本一提案制度で提案され実施に至ったものの中で、成果を出した職員（職員グループ）も次年度から発表・表彰する。

6 表彰

平成25年2月1日（金）に開催する「平成24年度 MIE 職員力アワード発表会」にて、知事より各賞を授与し表彰する。

「各部門賞」には賞状と副賞を贈り、「グランプリ」にはトロフィー、「職員セレクト賞」及び「来場者セレクト賞」には記念楯を贈る。

また、「グランプリ」を受賞したグループは全国都市改善改革実践事例発表会（平成25年3月にさいたま市で開催）で本県の代表取組として発表することとする。

7 新規採用職員における運営、審査

当発表会を創造性やチームワークを養う人材育成の機会、また、県庁内の改善活動を理解し、日々改善していく意識を身につけるための機会と考え、今年度の新規採用職員が必須で発表会の運営もしくは審査を行うこととする。

（ex. 運営：希望する新規採用職員、審査：左記以外の新規採用職員）

8 募集から発表会までの流れ

9月	<input type="checkbox"/> 職員に MIE 職員力アワードの実施を周知 <input type="checkbox"/> 新規採用職員等に発表会の実行委員会を公募
10月	<input type="checkbox"/> 実行委員会活動開始
11月中旬	<input type="checkbox"/> 募集開始
12月下旬	<input type="checkbox"/> 募集締め切り
25年1月	<input type="checkbox"/> 審査 <input type="checkbox"/> 職員投票
2月1日	<input type="checkbox"/> 第1回 MIE 職員力アワード発表会開催
3月上旬	<input type="checkbox"/> 第7回全国都市改善改革実践事例発表会で発表